

フォーラム 世界と日本の子どもの本から 5

子どもの本の翻訳

～翻訳だからできること、創作だからできること～

日時： 2017 年 11 月 25 日（土）15：00～17：00（予定）

会場： 日本出版クラブ 3 階（〒162-0828 東京都新宿区袋町 6 Tel. 03-3267-6111）

対象： 一般（中学生以上）

参加費：1000 円

定員： 140 人 ※事前のお申し込みが必要です（申込方法は下記）

パネリスト：上村令（編集者）、なかがわちひろ（作家・画家・翻訳家）

朽木祥（作家）、ひこ・田中（作家・評論家）

進行役： さくまゆみこ（翻訳家）

【お申し込み方法】

希望参加者 1 名につき 1 通をご記入の上、いずれかの方法でお申込みください。

- ① 電子メールでのお申込みの場合は、タイトルを「子どもの本の翻訳」とし、本文に、氏名、年齢、電話番号をお書きください。送付先 secretariat03@japanpen.or.jp
 - ② 往復はがきでのお申込みの場合は、「往信用裏面」に氏名、年齢、郵便番号、ご住所、電話番号をお書きください。「返信用表面」に返信先の郵便番号、住所、氏名をお書きください。
送付先 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 20-3 日本ペンクラブ「子どもの本の翻訳」係
- ※ 折り返し入場整理券をお送りいたします。2 週間以内にメールまたは返信はがきでの連絡がない場合は、恐れ入りますが下記問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先： 日本ペンクラブ 電話 03-5614-5391

主催： 一般社団法人日本ペンクラブ

後援：一般財団法人出版文化産業振興財団（JPIC）、一般社団法人日本国際児童図書評議会（JBBY）

このフォーラムは、国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」の助成を受けて開催されます。

日本の多くの子どもたちは、日本の作家によるオリジナルの創作作品と、海外の作品を日本語に翻訳した翻訳作品の両方を読んで育っています。しかし、最近は様々な事情から、前ほど翻訳作品が出版されなくなってきました。それはなぜなのかを考えてみると同時に、翻訳と創作の特色の違い、翻訳作品ならではのおもしろさ・難しさ、創作作品ならではのおもしろさ・難しさ、翻訳でしかできないこと、創作でしかできないことなどについて、話し合ってみたいと思っています。今回のパネリストは、翻訳物と創作ものの両方を手掛ける編集者の上村令氏、翻訳者でもあり作家でもある、なかがわちひろ氏と朽木祥氏、そして作家であり翻訳物もたくさん読む批評家でもあるひこ・田中氏。

翻訳の絵本や児童文学は、日本と他国の文化の間にかける橋であり、日本の子どもが異文化を背負った子どもたちと友だちになるきっかけを作ってくれます。また日本の子どもが視野を広げて自分で感じたり考えたりする力を養うための重要な手段にもなっています。その辺のこともこのシンポジウムで再確認しておきたいと考えています。

【出演者プロフィール】

○上村令（うえむら れい）

早稲田大学第一文学部英文学専攻卒。福武書店（現ベネッセ）で児童文学シリーズ「ベストチョイス」の立上げに携わる。1993年徳間書店に入社、児童文学・絵本の出版を始める。現在児童書局局長。担当した作品に荻原規子『空色勾玉』、なかがわちひろ&ココセ・ジュンジ『おたすけこびと』、R. ウェストール『海辺の王国』、M. センダック『ブルンディバール』、など。



○なかがわちひろ（中川千尋）

東京芸術大学卒業。コメディ脚本翻訳者を経て子どもの本の仕事をはじめ。訳書に『ふしぎをのせたアリエル号』（徳間書店）、『ちいさなあなたへ』（主婦の友社）。創作作品に『のはらひめ』『おたすけこびと』（徳間書店）、『天使のかいかた』（理論社・日本絵本賞読者賞）『かりんちゃんと十五人のおひなさま』（偕成社・野間児童文芸賞）など。



○朽木祥（くつき しょう）

広島市生まれ。上智大学大学院博士前期課程修了、Postgraduate diploma-course of Trinity College, Dublin 修了。『かはたれ』（福音館書店）で日本児童文学者協会新人賞他、『風の靴』（講談社）で産経児童出版文化賞大賞、『光のうつしえ』（講談社）で小学館児童出版文化賞など、作品はファンタジーから一般小説まで多岐にわたる。



○ひこ・田中（ひこ たなか）

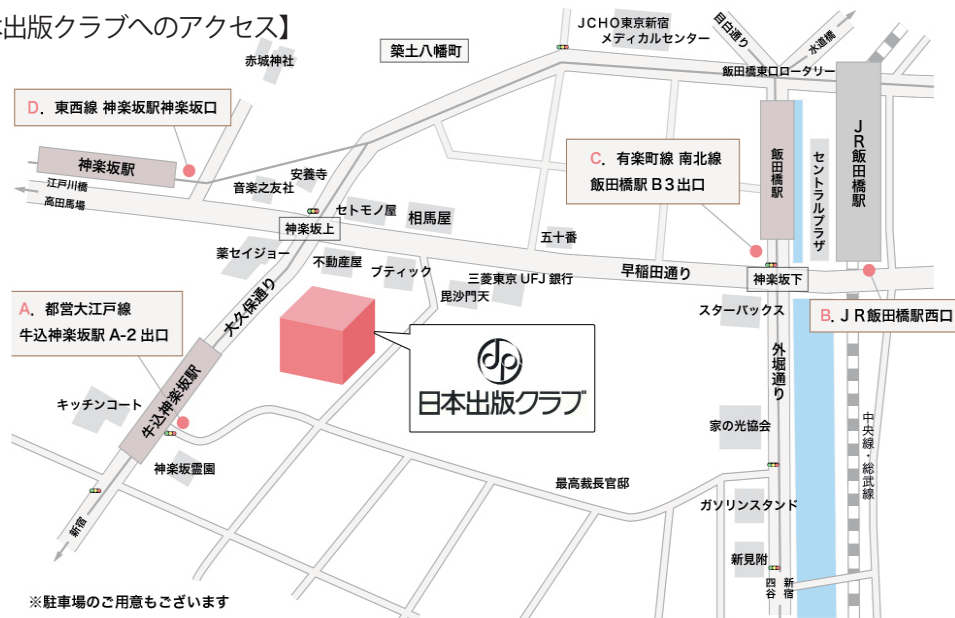
1953年、大阪府生まれ。児童文学作家、評論家。長編作品に『お引越し』『ごめん』『なりたて中学生』（第57回児童文学者協会賞）。幼年童話に「レッツ」シリーズ、『ハルとカナ』『サンタちゃん』。絵本に『ひつつきむし』『へたなんよ』。評論に『大人のための児童文学講座』『ふしぎなふしぎな子どもの物語～なぜ成長を描かなくなったのか？～』などがある。



○さくまゆみこ

出版社勤務の編集者や青山学院女子短期大学子ども学科教授を経て現在はフリーの編集者・翻訳者。日本語への翻訳作品は230点をこえ、産経児童出版文化賞大賞、日本絵本賞翻訳作品賞、ケストナー賞などを受賞している。日本ペンクラブ「子どもの本」委員、JBBY 会長。

【日本出版クラブへのアクセス】



- A. 都営地下鉄大江戸線「牛込神楽坂駅」
A2 出口より徒歩約2分
- B. JR「飯田橋駅」西口より徒歩約8分
- C. 東京メトロ有楽町線・南北線「飯田橋駅」
B3 出口より徒歩約7分
- D. 東京メトロ東西線「神楽坂駅」神楽坂口
より徒歩約7分

※駐車場のご用意もございません